

令和5年10月3日

日就寮委員会 御中

教育・学生支援部学生支援課

「東北大学の学生寄宿舍に入寮希望される方へ」における日就寮の記述に関する公開質問状への回答について

9月15日付け標記の文書について回答します。

1. 全ての学寮についての特記事項として「大学で修繕を実施しておりますが、施設設備の老朽化がかなり著しい状況です。」の記述について

日就寮は昭和45年建設、以文寮、霽風寮は昭和50年、明善寮、如春寮は昭和56年、松風寮は昭和57年に建設されており、最も新しい学寮であっても建設後40年以上を経過しております。

学寮の設備が老朽化しているという記述は不適切とありますが、日常的に様々な施設設備の不具合が発生しており、大学側で修繕を行っている現状です。

建物屋上や壁からの雨漏り、給水・給湯配管からの水漏れや、排水の詰まり、ガス配管からのガス漏れ、コンセント焼き付き、設備の故障（風呂、給湯器）、など様々な不具合が頻繁に起きていることをもって老朽化としていると認識しています。

また、感覚の個人差こそあれ、入居している寮生の皆さんが最も老朽化している状況を実感されていると思います。

学生寄宿舍を検討している学生や保護者の方が上記のような状況を分からないまま入寮して、思っていたのと違う等の食い違いがおきないように、予め知っていただくために「老朽化」という記載をしています。

また、それらの不具合があった場合には予算の制約もあり全て対応出来るものではありませんが、可能な限り速やかに修繕を行い入居者が不便にならないように努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

2. 日就寮についての「かつて中核派系全学連が拠点のひとつに位置付けていた」の記述について

近年の日就寮の様子からは、現在、中核派の拠点としている事実を確認出来ないため、令和4年6月発出の「東北大学の学生寄宿舍に入寮希望される方へ」から記述を変更しました。今後も日就寮の様子を確認したうえで、中核派との関係がないと判断できる場合には、記述をさらに変更することも検討します。